

Abstract

AROMA RESEARCH No.81(Vol.21 No.1)

木の香りとその機能性

谷田貝光克

<要旨>

木の代表的な揮発性成分 α -ピネンの肝がん、前立腺がん、黒色腫抑制作用、ヒバ材精油の胃がん細胞増殖抑制作用が明らかにされた。ヒバ材精油については気体としてのがん細胞抑制作用も確認されている。スギ葉精油の抑制作用、アトピー性皮膚炎のかゆみ抑制、鎮咳作用が明らかにされた。スギ、ヒノキなどの森林樹木の香りにストレスを軽減し癒し効果があること、誘眠効果があることなどが確認されている。

<キーワード> α -ピネン、抗がん作用、ヒバ材精油、アトピー性皮膚炎、鎮咳作用、樹木精油、いやし効果